

脳ドック結果報告

津島市民病院
脳神経外科渡部
わたべ
剛也
たけや

以下いずれも架空の話ですが、脳ドック結果報告書によく記載する内容です。

Aさん 68歳男性 高血圧と糖尿病あり治療中

頭部MRI：両側の脳に白質変性所見(加齢的变化)が多めに認められます。白質変性所見は加齢的变化ですが、脳内の微小血管の動脈硬化が原因と考えられており、所見が多い方は脳梗塞・脳出血を起こす頻度が通常より高いと考えられています。

頭部MRAおよび頸部MRA：特に異常はみられません。

頸動脈エコー：両側の頸動脈に動脈硬化による血管壁の肥厚が認められました。

その他の検査・問診表：血液検査にて、現在ご加療中の糖尿病の管理は問題ないようですが、LDL(悪玉)コレステロール高値が認められました。

<総合評価> 今回の脳ドック検査において、頭部MRIで白質変性、エコーにて頸動脈に有意な動脈硬化、血液検査で脂質異常症の疑い(LDLコレステロール高値)あり、脳卒中リスクは通常より高いと判断されます。予防の観点からリスク管理が必要と考えられます。

脳卒中の危険因子は高血圧、糖尿病、脂質異常症(コレステロール・中性脂肪)、喫煙、アルコール摂取過剰、不整脈などです。現在高血圧と糖尿病を治療中でいらっしゃいますが今後もしっかりと管理して下さい。また今回の血液検査で脂質異常症が疑われますので、かかりつけの医療機関でご相談ください。

Bさん 46歳男性 喫煙 20本/日 飲酒2合ほぼ毎日

<総合評価> MRI(頭部MRI/MRA・頸部MRA)および頸動脈エコーでは問題となる異常所見は認められませんが、血液検査にて中性脂肪高値・γGTP高値が認め

られ、生活習慣において喫煙習慣とアルコール摂取過剰がみられます。これらはいずれも脳卒中危険因子に該当するため、将来の脳卒中リスクは通常より高いと考えられます(脳卒中危険因子は高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、アルコール摂取過剰、不整脈など)。

※食生活の点検と適度な運動をお勧めします。

※禁煙をお勧めします。

※飲酒は適量を心がけてください(適量とはエタノール換算で25g/日：ビール500mlあるいは日本酒1合、かつ週2日の休肝日を設けることです)。

市民病院では毎週5~10人が脳ドックを受けられ、このような報告書を記載することがよくあります。Aさんはすでに高血圧と糖尿病があり脳卒中予備軍とも言えますが、主治医の先生と結果を共有していただきたいケースです。Bさんは現在の生活習慣を5~10年続けると脳卒中の危険が(もちろんその他の生活習慣病の危険も)あり、ぜひご家族にも結果をご覧いただき一緒に軌道修正を考えていただきたいケースです。報告書だけでなく、結果説明に来ていただければさらに詳しくご相談できるでしょう。

「ドック」とは気づかぬ病気を見つけるのみならず「転ばぬ先の杖」なのです。

